



NHK大河ドラマ特別展に今年も出展

◆「江」に『イエズス会エヴォラ版日本通信』

本学図書館は、昨年、江戸東京博物館など全国の四会場で開かれたNHKの大河ドラマ特別展「龍馬伝」に、河田小龍の『漂異紀畧』^{ひょういせきりやく}を協力出展したことに引き続いて、今年の大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」と関連して開かれる同名の特別展「江～姫たちの戦国～」に、(株)NHKプロモーションなど主催者からの依頼に応じてキリスト教の布教報告書である“Cartas qve os padres e irmãos da Companhia de Iesus, que andão nos Reynos de Iapão…” Eu(v)ora, 1598. (『イエズス会エヴォラ版日本通信』)を貸し出しました。



写真提供：株式会社NHKプロモーション



この書物は、布教を目的に日本を訪れていたイエズス会宣教師たちが、1549年から1589年までにヨーロッパや海外のイエズス会関係者に送った書簡をポルトガルのエヴォラで印刷のうえ刊行したもので、布教報告に留まらず、わが国の風土と文化をはじめ、武将間での戦いの様子や統治体制などが書かれています。このようなことから、本書は当時の日本人が残した記録を補完していくための重要な史料になっています。

特に、「江」に関して開頁展示される部分は、織田信長の妹で近江の戦国武将・浅井長政の妻となった市が、浅井家滅亡後に再び政略によって柴田勝家に嫁がされ、北の庄城（現在の福井市）に勝家と共に立て籠もるところで、羽柴秀吉の軍勢に取り囲まれた中を先夫の長政との間に生まれた江ら三人の娘たちを城外へ逃がし、果てていく様子が有名な宣教師ルイス・フロイスによって書き綴られています。

三人の娘たちの長女である茶々は成長して豊臣秀吉の側室淀君となり、二女の初は京極高次に嫁ぎ、そして大河ドラマの主人公となる三女の江は、徳川二代将軍の地位に就く秀忠の正妻となります。

なお、この特別展は1月から8月にかけて江戸東京博物館をはじめ、福井県立美術館、さらには、長浜市長浜城歴史博物館の順で開催されます。